

社会・環境報告書2025

鍋林株式会社

Nabelin Co.,Ltd.
www.nabelin.co.jp

ごあいさつ

弊社は創立100周年を迎えた34年前より、「国境を越えた地域社会の繁栄のために積極的な役割を果たし、人々のしあわせを創造していく」ことを基本方針として掲げてまいりました。この「国境を越えた地域社会」という言葉には、地域社会での身近な行動を基本としながら、その延長が地球規模の総体的な活動にそのまま繋がっていくのだという思いが込められています。繊細な視点と包括的な視野を併せ持って、経済活動や環境活動に取り組んでいくことが肝要であると考えます。

集中豪雨や豪雪、最高気温の更新など、近年多発する異常気象とも言える現象は、地球温暖化と密接な関係があると言われています。地球温暖化は人間活動によるところが大だとされる中、環境活動の必要性は高まるばかりです。そうした世界規模での環境問題も、個人個人が未来を見据え、そのために何をすべきかという問題意識を持ち、真剣に日々取り組んでいくことが欠かせません。

そうした意識のもと、 unnecessaryな電灯を消したり、電気機器のスイッチをオフにする、紙の使用量を減らす、車のアイドリングストップやエコ運転をする、そして公共交通機関を利用した通勤車両ノーマイカーデーを毎週実施するなど、日常の中で一人ひとりが取り組む小さな活動が、ひいては地球規模の持続可能な環境保全に繋がるものと考え行動してまいります。

また同時に、企業の事業活動としても、環境に配慮した商品を積極的に取り上げ、それをお得意先にご提案し、ご採用いただくことによって、環境保全に資しながら社会全体に環境意識を広めていく一助となることを目指してまいります。

2021年度より、ISO14001の環境方針に「6. SDGs活動を推進する。」との項目を付け加えました。全社として、また事業部として取り組むべき内容を明確化し、目標管理の項目としてフォローしております。

本報告書に、2024年度の鍋林株式会社の活動の概要をまとめさせていただきました。ご覧いただき、これからも変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長

島 宏 幸

事業概要

| | |
|----------------------|---|
| 名称及び代表者 | 鍋林株式会社 代表取締役社長 島 宏 幸 |
| 主な事業内容 | 医療用医薬品、医療・介護機器、基礎化学品、医薬原料、半導体薬品、電子材料、樹脂、設備機器、食品原材料、食品包装資材、OA機器コンピュータの販売、及び取り扱い品目の輸出入など。 |
| 事業規模 (2025年4月末現在) | 資本金 1億94百万円 年商 930億9百万円 従業員数 539名 |

拠 点

| | | | |
|------------|----------------------------------|-----------------------|---|
| 本店 | 長野県松本市中央3丁目2番27号 | 富山営業所 | 富山県魚津市大海寺新329 |
| 松本本社 | 長野県松本市双葉8番10号 | 関東営業所 | 埼玉県鶴ヶ島市柳戸町11番地7 |
| 東京本社 | 東京都中央区八重洲1丁目3番22 (八重洲龍名館ビル7階) | 東京営業所 | 東京都中央区八重洲1丁目3番22 (八重洲龍名館ビル7階) |
| 長野営業所 | 長野県長野市アークス1番14号 | 山形営業所 | 山形県東根市大字郡山字四角石89番地 |
| 松代配送センター | 長野県長野市松代町大字豊栄字宮崎6331番地 | 酒田営業所 | 山形県酒田市広栄町1丁目1番4号 |
| 東信営業所 | 長野県小諸市大字西原字金山646番10号 | 仙台営業所 | 宮城県黒川郡大和町吉岡東3丁目8番11号 |
| 松本営業所 | 長野県松本市双葉8番10号 | 名古屋営業所 | 愛知県名古屋市中区錦2丁目2番24号 (いちご丸の内サウスビル6階) |
| あづみ野配送センター | 長野県北安曇郡松川村南神戸4363番地32 | 大阪営業所 | 大阪府大阪市中央区道修町1丁目3番1号 (デライト北浜ビル3階) |
| 岡谷営業所 | 長野県岡谷市長地小萩1丁目13番11号 | 福岡営業所 | 福岡県福岡市博多区博多駅南3丁目2番3号 (アイビービーフェリクス博多802号) |
| 伊那営業所 | 長野県上伊那郡南箕輪村9033番地 | 熊本営業所 | 熊本県熊本市南区流通団地1丁目10番2号 |
| 飯田営業所 | 長野県飯田市下殿岡263番地1 | 長崎配送センター | 長崎県大村市西部町971番地 |
| 甲府営業所 | 山梨県甲府市上阿原町240番地 | 鹿児島配送センター | 鹿児島県霧島市国分敷根300番地 |
| 北関東営業所 | 群馬県佐波郡玉村町大字板井870番地 | 台湾支店(日商鍋林股份有限公司台湾分公司) | 台湾・台北市南京東路3段346-9號 9樓 913室 |
| 宇都宮営業所 | 栃木県宇都宮市東宿郷3丁目2番18号 (高智穂ビル5階A) | | |
| 新潟営業所 | 新潟県新潟市東区逢谷内字居前339番地1 | | |
| 中越配送センター | 新潟県燕市小関字野中1041番地 | | |
| 上越営業所 | 新潟県上越市大字福橋字前田744番地1 | | |

(2025年4月末現在)

環 境 方 針

【理念】 鍋林株式会社は事業活動を通じて環境保全・社会貢献活動に取り組み、社会経済の発展と地球環境の保全を両立させた持続可能な社会の実現を目指す。

- 【方針】**
1. 環境保全型事業を推進し、持続可能な循環型社会の構築に寄与する。
 2. 環境パフォーマンスを向上すべく、マネジメントシステムを構築し、継続的改善を行なう。
 3. 国内外の環境関連法規、及び当社の同意するその他の要求事項を順守する。
 4. 本環境方針に沿って環境目的及び目標を設定し、必要により見直しをする。
 5. 次の課題を環境目的とする。
 - (1) 環境貢献商品の拡大
 - (2) 環境負荷の抑制と管理
 - (3) 地域環境保全への奉仕活動
 - (4) 有益な環境活動の推進
 6. SDGs 活動を推進する。
 7. この環境方針は構成員に周知し、また利害関係者など一般へも公開する。

環 境 目 的

1. 環境貢献商品の拡大
各事業部で品目を選定し、売上目標の達成を図る
2. 環境負荷の抑制と管理
電力使用量、車両燃料使用量、廃棄物排出量及びOA用紙使用量の抑制と管理
通勤車両ノーマイカーデーの実施
3. 地域環境保全への奉仕活動
地域清掃活動、地域貢献活動など
4. 有益な環境活動の推進
環境教育、コンプライアンス活動、献血活動、募金活動など

直近5年の環境実績と目標判定

| | 2020年度実績 | 2021年度実績 | 2022年度実績 | 2023年度実績 | 2024年度目標 | 2024年度実績 | 対目標 | 判定 |
|-------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|---------|----|
| 電力使用量 | 2,001,728 kw | 2,165,709 kw | 2,147,220 kw | 2,190,119 kw | 2,201,697 kw | 2,147,999 kw | 97.56% | ○ |
| 都市ガス使用量 | 12,425 m ³ | 12,400 m ³ | 13,135 m ³ | 13,701 m ³ | 13,612 m ³ | 13,868 m ³ | 101.88% | × |
| 灯油使用量 | 10,477 L | 10,097 L | 8,522 L | 8,170 L | 9,245 L | 11,412 L | 123.44% | × |
| 社有車両ガソリン使用量 | 482,354 L | 468,390 L | 418,969 L | 388,496 L | 380,685 L | 362,949 L | 95.34% | ○ |
| 社有車両軽油使用量 | 189,113 L | 187,967 L | 186,400 L | 189,487 L | 199,970 L | 180,794 L | 90.41% | ○ |
| 契約車両燃料使用量 | 90,233 L | 88,927 L | 92,190 L | 97,131 L | 103,500 L | 108,387 L | 104.72% | × |
| 車両燃料使用合計 | 761,699 L | 745,284 L | 697,559 L | 675,114 L | 684,155 L | 652,130 L | 95.32% | ○ |
| OA用紙使用量 | 2,947,127 枚 | 2,934,688 枚 | 2,870,538 枚 | 2,823,823 枚 | 2,821,000 枚 | 2,711,874 枚 | 96.14% | ○ |
| 廃棄物排出量 | 65,222 kg | 74,494 kg | 68,175 kg | 63,585 kg | 64,757 kg | 69,313 kg | 107.04% | × |

19年間の目標・実績の推移

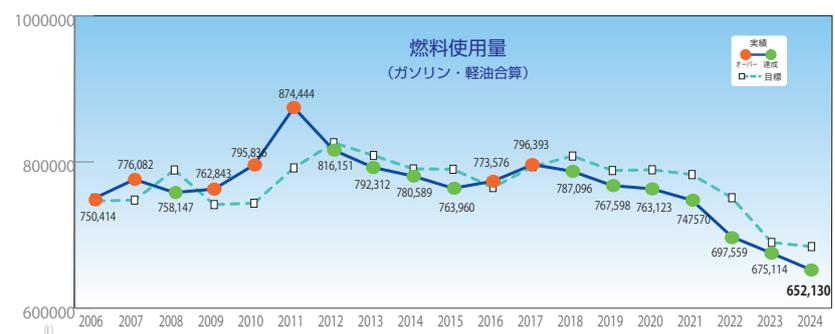
電力使用量

対目標値は全社で97.6%とクリアしました。倉庫の温度管理の要求がよりシビアになる中、空調の電力使用を効率化し、できるところで極力節電することで絶対量でも昨年値を下回りました。



車両燃料使用量

ガソリン・軽油の社有車・契約車合算で95.3%と目標値をクリアしました。軽油の使用量は増加傾向にあります。ガソリンの削減分が補い、全体で毎年着実に減少しています。



廃棄物排出量

目標値に対して107.0%とオーバーしました。いくつかのエリアでパレットや什器などをまとめて処分したためです。次年度はその分減少し削減できる見通しです。



OA 用紙使用量

目標値に対して96.1%とクリアしました。毎年着実に減少し、対2021年では92.4%となりました。DX化で一層の紙の節約に取り組んでまいります。



環境関連商品の取扱い

特に環境に対して良い効果をもたらすものを環境関連商品と位置づけ、各事業部主導のもと、品目を選定、売上目標を掲げ推進しています。

【取り上げた商品例】

凝集剤、吸着マット、非塩素系加工油・切削油、鉛フリー半田、環境配慮型洗浄剤、フィルター、環境測定機器、シリコン、除菌スプレー、環境配慮型複合機、天敵農薬等

SDGsの取り組み

長野県 SDGs 推進企業登録制度に登録し、2022年度より以下の取り組みを開始しました。

【SDGs 登録目標：2030年度までに達成すべきこと】

- CO₂排出量を2021年度比10%削減

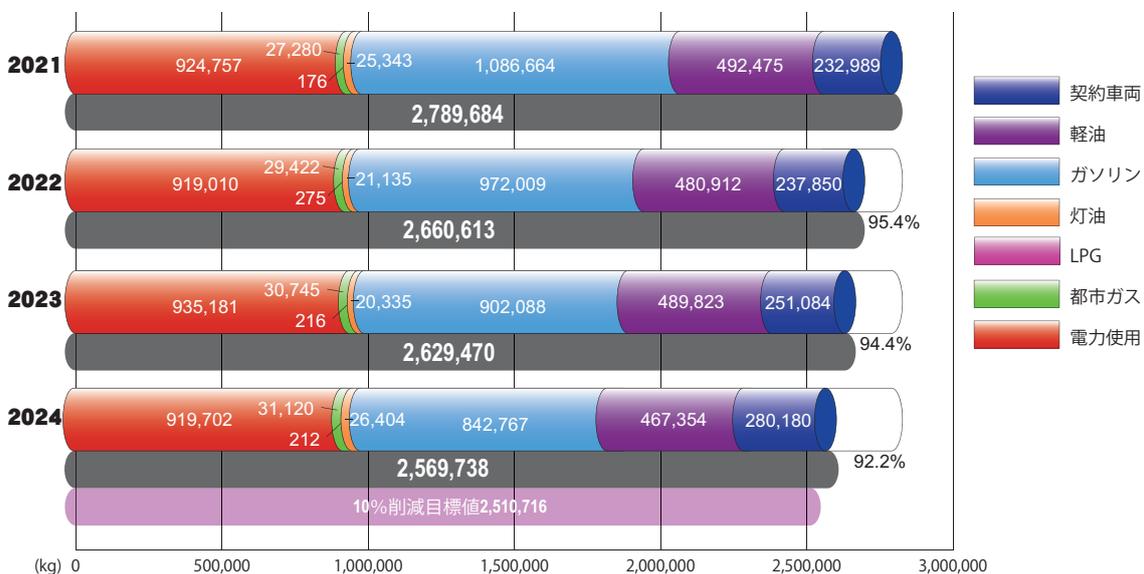
ISO14001環境マネジメントプログラムを活用し、温室効果ガスの排出量削減に取り組めます。

CO₂排出量実績表

CO₂排出量を2021年度比で10%削減 ※2030年度までに達成すべきこと

| | 電力使用 | 都市ガス | LPG | 灯油 | 車両ガソリン | 車両軽油 | 契約車両 | 計 |
|--------------------|--------------------|--------------------|-----------------|--------------------|----------------------|--------------------|---------------------|----------------------|
| 2021年度 (構成比) | 924,757kg 33.1% | 27,280kg 1.0% | 176kg 0.0% | 25,343kg 0.9% | 1,086,664kg 39.0% | 492,475kg 17.7% | 232,989kg 8.4% | 2,789,684kg 100% |
| 削減目標 | | | | | | | | 2,510,716kg |
| 2024年度 (2021年比) | 917,196kg 99.2% | 31,120kg 114.1% | 212kg 120.5% | 28,404kg 112.1% | 842,767kg 77.6% | 467,354kg 94.9% | 280,180kg 120.3% | 2,567,233kg 92.0% |

CO₂排出量グラフ



2. 通勤車両ノーマイカーデー 1回/週の実施
地域社会に根ざした社会貢献活動を継続的に推進します。
3. 環境商品の販売実績金額を2021年度比20%伸長
環境影響に配慮した商品を事業部毎に取り上げ、販売活動を通じて環境に貢献します。



環境商品実績表 環境商品の販売実績を2021年度比で20%伸長 ※2030年度までに達成すべきこと

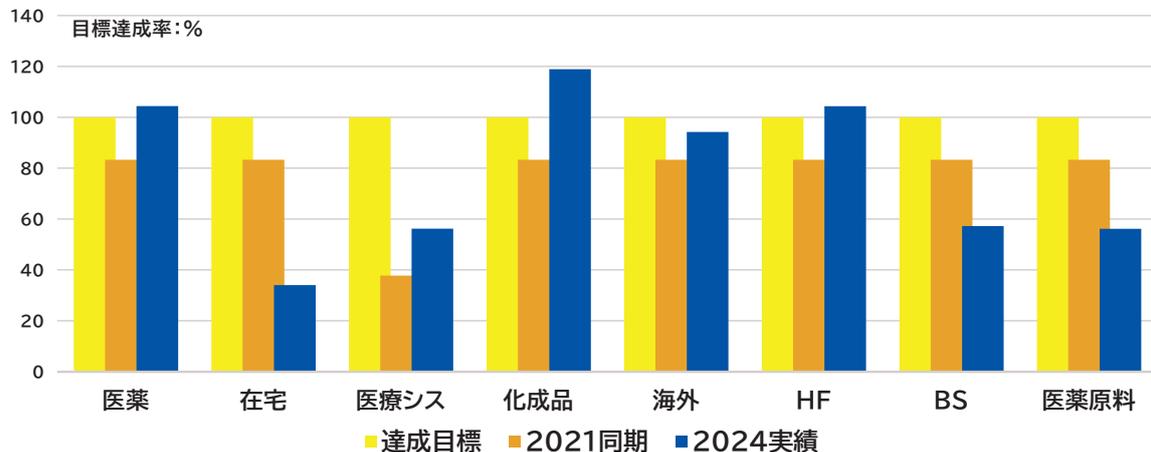
| | 医薬 | 在宅 | 医療シス | 化成品 | 海外 | HF | BS | 医薬原料 |
|--------|---------|---------|-------|------------|--------|---------|---------|-----------|
| 2021年間 | 187,601 | 196,490 | 30.2% | 10,383,248 | 15,228 | 153,893 | 195,831 | 1,701,176 |
| 達成目標 | 225,121 | 235,788 | 80.0% | 12,459,898 | 18,274 | 184,672 | 234,997 | 2,041,411 |
| 2021同期 | 187,601 | 196,490 | 30.2% | 10,383,248 | 15,228 | 153,893 | 195,831 | 1,701,176 |
| 2024実績 | 235,079 | 80,224 | 45.0% | 14,817,570 | 17,219 | 192,675 | 134,580 | 1,146,720 |

※医療システムのみ目標値は得意先電子カルテ導入率

単位：千円

※HF 事業部、医療システム事業部を除き環境商品の対象を本年度より変更

環境商品達成率グラフ



社会貢献活動

◎清掃活動 (写真)

事業所ごとに年間計画を定め、清掃活動を実施しております。地域社会への貢献の第一歩として、会社の周りの道路・歩道等の清掃を行なっています。

鍋林の関連会社で構成する「かたばみ会」では、年4回「かたばみ会一斉清掃」と題し、各社全事業所で内外の清掃を一斉に実施しました。



清掃活動

◎献血運動 (写真)

松本本社では、松本赤十字血液センターの献血車を社内に招き、社員同士で業務の調整をしながら献血を行なっています。

◎募金運動

薬物乱用を防止する「ダメ。ゼッタイ。国連支援募金」、「NHK海外たすけあい義援金」への募金活動を行なっています。

◎通勤車両ノーマイカーデー

全社で毎週1日ノーマイカーデーを設定し、通勤にマイカーを使わず、公共機関を利用するようにしています。



献血運動

◎地域貢献

近隣の皆様にお役に立てるよう、営業時間外に松本本社駐車場を行事等にご利用いただいております。主に、小学生の夏休みの早朝ラジオ体操やリサイクル品の回収、町内会の秋の防災訓練などにお使いいただきました。

また、地域振興につながる行事や催事に積極的に参画することで、文化活動の支援を行なうと共に、環境に関わる各種団体に加入し、それらの活動を通じて社会貢献を行なっています。

環境教育

当社で働く、また当社のために働くすべての環境に影響する活動に従事する人々に対し、教育訓練の必要性を明確にし、その手順を「教育研修要綱」に定め、年間計画を策定して環境教育を実施しています。

①基礎教育（全構成員対象）

- 当社の環境方針、環境目的・目標及び環境マネジメントシステムの要求事項について
- 地球環境問題について

②専門教育（該当者）

- 商品保管、配送、フォークリフト運転教育
- 環境関連商品の知識習得
- 関連法規教育

③緊急事態対応訓練（写真）

- 危機管理マニュアル教育
- 消火、避難、救出、救護、緊急連絡訓練
- 普通救命講習



緊急事態対応訓練

本年度環境活動を振り返り

環境管理責任者 取締役 矢口 治

本年度（2024年5月～2025年4月）の日本経済は、エネルギー・原材料価格の高止まりや物価上昇による企業のコスト負担が増加したものの、個人消費や企業の設備投資が下支えとなり、緩やかな回復基調が続きました。一方、2025年1月に誕生したトランプ米政権の高関税政策を契機として、米中間の貿易摩擦が再燃するなどサプライチェーンの不確実性が増大しました。

このような状況の中、当社は2019年度から4ヶ所の拠点を新設し、市場の拡大を進めてまいりました。本来、人員・車両・施設などの増加に伴い、環境負荷となるエネルギー使用量も増加することになりますが、推移表をご覧くださいと解る通り、全社的には電力使用量を除いた、燃料使用量、廃棄物排出量、OA紙使用量は減少しています。コロナ禍による影響もその一因ではありますが、引き続き、企業価値の向上を追求すると同時に、環境への責任を重要視し、その両立に努めてまいります。

また、2022年度からは、事業を通じて社会課題の解決を図るべく、各事業部がそれぞれの事業分野で目標を掲げ、SDGs活動を推進しています。お取引先や地域社会からの様々な課題やご期待に応えるため、新たなアプローチを模索しながら、社会・環境課題の解決に取り組んでまいります。脱炭素社会の実現に向けた取り組みについても、今後、温室効果ガス排出量の算定範囲の拡大や算定方法の確立について、検討を進めてまいります。

当「社会・環境報告書」は、当社ホームページ上でも公開し、誰でもお読みいただけるようにすることで、ひとつでも多くのご意見を頂戴し、今後の環境活動に役立てていこうと考えています。皆様からの忌憚のないご意見を頂戴できれば幸いです。

鋼林株式会社 社会・環境活動 環境報告書 <https://www.nabelin.co.jp/eco/index.html>

ISO14001 認証取得

初回認証 2001年3月27日

登録番号 E00-188

認証範囲 松本本社、東京本社、
日本国内営業所、配送センター、
当社取扱い販売分野に関連した
業務全般及び本社・本部スタッフ業務

適用規格 JIS Q 14001 : 2015
(ISO 14001 : 2015) ISO14001 認証取得

社会・環境報告書2025

対象期間 2024年5月～2025年4月

発行日 2025年9月3日

編集・発行 鍋林株式会社 総務グループ
長野県松本市双葉8番10号
TEL 0263-27-6545
FAX 0263-27-6570

発行責任者 環境 ISO主管部門
総務グループ長 上地 宏佳



この冊子は、適切に管理された FSC® 認証林、
再生資源およびその他の管理された供給源から
の原材料で作られています。

